

九州防衛局が「エアメモリアル in かのや2023」で広報活動

《概要》

4月30日（日）、海上自衛隊鹿屋航空基地で4年ぶりに「エアメモリアル in かのや2023」開催され、約1万8千人の来場者でにぎわう中、九州防衛局は会場内にブースを設置し、広報活動を行いました。

九州防衛局のブースでは、令和4年版防衛白書のパネル展示、広報誌「きゅうしゅう」をはじめとする防衛省各種パンフレットの配布や防衛白書クイズなどを行いました。

特に、防衛白書クイズのコーナーでは、正解すると鹿屋基地に配備されている「P-1」などの装備品がプリントされた缶バッジがもらえるとあって、多くの家族連れや子供達で賑わいました。

また、世界最高峰の国産救難飛行艇「US-2」の展示飛行が行われる中、ブルーインパルスの特ダストリーとパイロットの全身をかたどった顔出しパネルの前では、老若男女を問わず多くの方々に写真撮影を楽しんでいただきました。

来場者からは、昨年12月に策定された「防衛力整備計画」における防衛力の抜本的強化に関する内容や、九州防衛局の業務に関する質問が多数寄せられ、ブースは大盛況となりました。

九州防衛局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々にご理解いただけるよう、今後とも様々な機会をとらえ広報を実施していきますので、自衛隊の各種イベントにおける九州防衛局のブースにて皆様をお待ちしております。



▲救難飛行艇US-2や 哨戒機P-1の展示



▲九州防衛局ブースの様子



▲各コーナーを楽しむ来場者（防衛白書クイズ、ペーパークラフト、写真撮影）